

第2回アジア土木技術国際会議の準備，着々と進む

アジア土木学協会連合協議会（ACECC）担当委員会幹事長
正会員 工学博士 （財）鉄道総合技術研究所 奥村文直

2001年4月16日から20日まで東京で開催する第2回アジア土木技術国際会議（2nd CECAR）の準備が着々と進んでいる。昨年春に発足した第2回CECAR組織委員会（住吉幸彦委員長）では、すでに4回の本委員会を開催するとともに、総務・経理、学術、行事の各分科会を適宜開催し、基調講演や特別講演を含むプログラムの策定、テクニカル・ビジットの選定・調整、予算の策定等を行っている。

これまでに固まったプログラムでは、各学会の努力により豪華な顔ぶれとなった特別講演として、国連事務総長特別顧問 Maurice Strong氏の「持続可能な未来のためのエンジニアリング」、フィリピン大統領顧問 Robert Aventura氏の「フィリピンにおけるフラッグシップ・プロジェクト」、さらに武蔵工業大学教授中村英夫氏の「東アジアの交通インフラの発展と問題点」の3つの講演が予定され、基調講演では、「環境に配慮した国土計画」と題し、近藤次郎国際科学財団理事長・東大名誉教授に社会資本整備の基本的方向についてお話しいただくことになっている。

各国学協会の推薦で決められた一般セッションは、3つの並行セッションで行われ、十数カ国から60編程度の論文が発表される。建設マネジメントでは、日米韓比各国の最新の状況が報告され、プロジェクトでは、鉄道、空港、道路、水力発電、パイプラインなどアジア各国のダイナミックな発展状況がつかめる内容となっている。持続力ある発展のセッションでは、地震災害、自然災害、環境などのテーマが取り上げられ、最近の地震被害と復興状況、水害、地すべり、人工島および技術者資格など、多岐にわたる話題がカバーされている。また、インフラストラクチャーのセッションでは、都市開発に関するパネルディスカッションと国際河川の流域開発における諸問題に関するパネルディスカッションが行われ、それぞれ6か国の代表によってさまざまな視点から討議が行われる。革新的技術セッションでは、IT技術、E-commerce、超電導リニアなど、土木技術に大きな変革をもたらす可能性のあるテクノロジーが取り上げられている。

テクニカル・ビジットでは、西新宿シールドトンネル、東京湾アクアライン、山梨リニア実験線、八王子料金所におけるノンストップ自動料金収受（ETC）システム、などへの現地見学が4月19日に日帰りで予定されている。また、世界最長の吊橋である明石海峡大橋へのツアーは、19日と20日の二日間で行われる。さらに、セッション開会中の同伴者プログラムでは、鎌倉の神社仏閣見学、浅草寺と隅田川クルーズなど、二つのプログラムが用意されている。

昨年9月に発足したアジア土木技術学協会連合協議会（ACECC）（学会誌2000年7月号参照）は、10月16日にシアトルで第3回の理事会を開催し、以上のような第2回CECARの準備状況の審議を行っている。参加学協会は、日本、韓国、フィリピン、米国、台湾、5学会に加え（なお、前回加盟したベトナムは今回の理事会には不参加）、ACECC加盟は認められたが公式手続きが完了せず、オブザーバー参加のオーストラリアの計6学会、参加者総勢17人であった。日本側からは、日本土木学会代表の花村哲也岡山大学教授、ACECC Secretary Generalの日下部治東工大教授、第2回CECARの住吉幸彦組織委員長、寺師昌明幹事長、ACECC事務局の芹野恵美子氏、組織委員会総務部会幹事を務める筆者の6名が参加した。

この理事会では、ACECCの活動報告が行われるとともに、第

2回CECARプログラムのほかに、収入と支出の見通し、参加者見込み、各国が主催する学生エッセイコンテストの状況等が話し合われた。また、第2回CECARに集まる各国土木学協会長によって会議を開催し、ここでの討議結果を会長会議レポートとして、CECAR閉会式で報告することも了承されている。

昨年の発足以来、ACECCはアジア各国のネットワークとして日本の主導によって確実に発展しており、第2回CECARの準備も開催国日本の尽力で順調に進んでいる。アジア諸国の持続力ある発展をテーマにした第2回CECARは、非常にユニークで刺激的な国際会議となることが期待されている。土木学会会員の参加とサポートをお願いしたい。

（第2回アジア土木技術国際会議Website <http://www02.u-page.so-net.ne.jp/tg7/cecar/>）

第2回アジア土木技術国際会議

- 主催： ACECC（アジア土木学協会連合協議会，加盟学協会 - （社）土木学会，ASCE（米国土木学会），CICHE（中国土木水利工程学会），KSCE（大韓土木学会），PICE（フィリピン土木学会），VCA（ベトナム建設協会）
- 開催期日： 平成13年（2001年）4月16日～20日
- 場所： ホテルメトロポリタン
（〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 最寄駅：JR池袋駅より徒歩3分
Phone：03-3980-1111 FAX：03-3980-5600）
- テーマ：
 - 建設 マネージメント（Construction & Management）
マネージメント，プロジェクト，交通
 - 持続可能な発展（Sustainable Development）
災害（地震），自然災害，環境，資格と教育
 - インフラストラクチャーと革新的技術（Infrastructure & Innovative Technology）
都市開発，水資源と総合流域開発，革新的技術と研究開発，設計施工のための情報技術
- 公式言語： 英語（但し，メイン会場のみ同時通訳有）
- 登録料：

1月31日まで	会議登録	¥47,000（レセプション，懇親会費および資料代含）
	同伴者	レセプション，懇親会参加費 ¥4,500
2月1日以降	会議登録	¥52,000（同上）
	同伴者	レセプション，懇親会参加費 ¥5,000

7.テクニカルツアー（オプション別料金）

- 1) 首都高速道路西新宿シールドトンネル，2) 山梨リニア実験線・中央自動車道八王子料金所ノンストップ自動料金収受（ETC）システム，3) 明石海峡大橋と京都ツアー
他同伴者プログラム有 詳細は，Websiteをご覧ください。

8.参加登録方法

参加登録は，Website上にあります所定用紙（Registration Form）をダウンロードのうえ，記載の申込先までFAX（03-3423-1600）にてご送付お願い致します。

第2回アジア土木技術国際会議Website
<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/tg7/cecar/>